

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	八坂切久保堤棚田ふれあいパーク整備事業
事業主体 (連絡先)	農の心人をつくる会 (事務局 宮下享治)
事業区分	環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,133,000円 (うち支援金:755,000円)

事業内容

大町市八坂(切久保地区)は、山村留学発祥の地であり多くの都市住民がおとずれている場所に位置している。切久保堤棚田は、作業効率や動力不足などのより長年耕作放棄されていた棚田を、都市住民と地域住民の協働により棚田の復活と稲作への取組が行われて保全活動は10周年を迎えている。

この活動の更なる発展と多くの都市、地域住民が交流の場として、棚田の展望が良く、利用しやすい場所にふれあいパーク(東屋)を建設した。

- ふれあいパーク (森林広場) 約500㎡
- 付帯施設 東屋 1棟・テーブル3基・ベンチ6基
案内板3基・散策道 約30m

事業効果

○堤棚田の保全を通じての都市・地域住民交流の拠点と地域原材料の活用による施設整備 (活動日数 10日)

- ・活動人数 178人対目標人数 140人達成率 127%
- ・材料利用 90%{東屋の柱材・テーブル・ベンチ材他}

○広場利用 育てる会学園来場者、留学生・父母他
(7月~11月末 推定数)

- ・見学人数 300人対目標人数 800人達成率 37%

今後の取り組み

○ふれあいパークは、堤棚田の維持保全活動の拠点とし活用しながら、稲作を行い棚田等の景観形成に継続に携わっていく。

○山村留学生、父母、地域住民の交流の場として、定期的な維持管理を行い、魅力のある施設環境を作っていく。



【堤棚田やまなみ亭】

【目標・ねらい】

- ① 都市・地域住民の交流拠点整備
- ② 〃 の交流促進
- ③ 地域原材料活用と手作り施設
- ④ 棚田の景観形成、環境保全
- ⑤ 棚田の維持、保全活動の推進

※自己評価【 A 】

【理由】

・天候に左右されながら10日間の作業により支柱材の皮はぎ、組立、現場加工、塗装など、手作りのより完成された施設は、多くの都市在住の会員と地域住民の絆を強くするとともに、長年の都市交流の大きな成果となった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある